

Public Safety Power Shutoff（計画停電）とは？

ビデオ：

計画停電（Public Safety Power Shutoff、PSPS。以下「計画停電」）は、2017年と2018年の山火事後に施行された予防的な安全対策です。当社の測候所ネットワークで火災による危険状態が予測された場合、当社は計画停電を通じて送電を前もって停止することがあります。

影響を受ける可能性が最も高いのは火災の危険性が高い地域ですが、PG&Eのお客様はどなたも、起こりうる計画停電に備える必要がございます。

送電線は遠く離れた地域に電気を供給できるため、火災の危険性が高い地域に住んでいないお客様や厳しい天候に見舞われていないお客様でも電力を受けることができなくなる可能性があります。

つまり、お住まいの地域で強風や危険な状況が発生していなくても、電力を供給している送電線がそのような状況の影響を受けている場合には停電が発生する可能性があります。

山火事の季節にお客様ご自身の安全を確保できるよう、あらかじめ計画を立てることを強くお勧めします。

計画停電の詳細や停電に備えるコツなどについては、safetyactioncenter.pge.comでお確かめください。